

令和4年度 指導者養成事業
「自然体験活動指導者 (NEAL リーダー) 養成講習」

- 1 趣旨 ・全国体験活動指導者認定委員会が制定した「自然体験活動指導者養成カリキュラム」に則り、子供の発達段階に応じた安全な活動を指導できる人材を養成する。

2 日程

(1) 期 日 令和5年2月11日(土)～13日(月) 2泊3日

(2) 参加者 18名

(3) 研修内容

2月11日(土)		2月12日(日)		2月13日(月)	
10:00	受付	6:00	起床	6:00	起床
10:30	開校式	7:30	朝食(食堂)	7:30	朝食(食堂)
11:00	ガイダンス	9:00	講義「対象者理解」	8:30	宿舎点検
12:00	昼食	10:45	講義・実習「自然体験活動の指導」	9:00	講義・実習「自然体験活動の技術」
13:00	講義「自然体験活動の特質」	12:15	昼食	12:00	昼食
16:15	講義「青少年教育における体験活動」	13:30	実習「自然体験活動の技術」	13:00	認定試験
18:00	夕食	16:45	講義・実習「自然体験活動の安全管理」	13:30	閉校式
19:00	講義・実習「自然体験活動の安全管理」	18:15	夕食	14:00	解散
21:00	入浴	19:30	入浴		
22:30	就寝	22:30	就寝		

3 成果と課題

(1) 活動プログラムの実際

- ①各講義では、グループワークの時間を多く設け、講師からの一方的なものではなく参加者が主体的となって学べるよう実施した。
- ②自然体験活動の技術では、コンパスを使用した「オリエンテーリング」やネイチャーゲームを行った。
- ③参加者同士の交流を活発にするため、各講義・実習ごとにグループを設けた。

(2) アンケート結果について

- ①教育事業アンケートの満足度(「満足」と「やや満足」の評価)は、すべての項目において100%であった。
- ②アンケートの記述には「多種多様な背景を持つ方と講義や演習を通じて、たくさん交流ができ、モチベーションUPにつながった」「とても充実した内容で、まさに今必要な学びばかりだった」「同じ分野に興味がある人と関わるのは初めてだったので、良い経験になりました」などの意見があった。

(3) 成果と課題

①成果

- ・今年度の広報も昨年度に引き続き、近隣県のボーイスカウト・ガールスカウト連盟、国立及び県立青少年教育施設、法人ボランティア等に幅広く周知した。その結果、全国各地(岩手、和歌山、大阪、京都等)から自然体験活動に興味のある参加者が集まった。

- ・各講義・実習において参加者同士のグループワークの機会を多く設けたことで、参加者自身の考えだけでなく、様々な参加者の自然体験活動に対する考え方や指導方法等を得られることができた。
- ・ネイチャーゲームや柴垣海岸での自然体験活動を通して、楽しみながら知識や技術を深めるとともに今の子供達に必要な自然体験活動の在り方を伝えることができた。

②課題

- ・北陸での冬の時期の開催だったため、外での自然体験活動に一部制限があった。制限なく自然体験活動ができる時期での開催を検討する必要がある。
- ・参加者が、今後当施設での事業に関わってもらえるよう、引き続き事業案内等の情報発信をし、演習ができる機会を設ける必要がある。

4 事業の様子



【アイスブレイクの様子】



【グループワークの様子】



【ネイチャーゲームの様子】



【森のお弁当箱作りの様子】



【参加者同士の交流の様子】